



令和2年度

社会的孤立の増加への対応

少子高齢化や核家族化等が進むことにより、単独世帯の割合が増え、特に高齢者の単独世帯が急増すると推計されています。このような中、孤立死(孤独死)を身近な問題と感じる人の割合は、60歳以上の一人暮らしでは4割を超えると報告されています(平成30年版高齢社会白書)。

この研修では、社会的孤立に対して自治体はどのように対応するかを考えるとともに、社会的孤立が起こりにくい地域づくりについて考察を深めます。

研修の内容

- ① 社会的孤立の現状や課題、行政の役割について学ぶ
- ② 孤立死(孤独死)が起こった場合の法的対応について学ぶ
- ③ 社会的孤立が起こりにくい地域づくりを考える

開催要領

日程 令和2年6月24日(水)～6月26日(金) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 住民の孤立死・孤独死予防や対応にあたる市町村職員
社会福祉協議会、NPO等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 令和2年5月11日(月)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

6月

24日(水)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～15:35 **講義 社会的孤立の広がり**と自治体に求められる役割

静岡県立大学経営情報学部 副学部長・医療経営研究センター長 教授
藤本 健太郎 氏

社会的孤立(孤立死(孤独死)等を含む)の現状や課題についてご講義いただきます。また、社会的孤立に対して自治体が行うべき施策や役割、孤立死(孤独死)をできるだけ防ぐための方策について、関係者のネットワークの構築、公私連携の推進などについて考えます。

15:50～17:00 **意見交換／質疑応答**

静岡県立大学経営情報学部 副学部長・医療経営研究センター長 教授
藤本 健太郎 氏

17:30～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和2年

6月

25日(木)

9:25～12:00

講義 孤立死(孤独死)の法的対応

土井法律事務所 弁護士 **土井 裕明 氏**

孤立死(孤独死)のどのような点が問題であるのか等の基本的な考え方から、実際の自治体職員への対応事例や、法的な課題等についてお話しいたします。

13:00～13:30

講義 孤立しない地域づくりについて考える

東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 **加山 弾 氏**

孤立をしないための地域づくりについて、どのような視点で取り組むと良いのかをお話しいたします。また、この後の事例紹介のポイント等も解説いただきます。

13:40～14:40

事例紹介① 孤立を防ぐ地域づくり

鳥取県倉吉市社会福祉協議会事務局次長兼あんしん相談支援センター所長
河本 勢津子 氏

倉吉市社会福祉協議会では、複数の社会福祉法人等と連携しながら、生活に困り、孤立している人への支援を充実させておられます。この時間は、地元のJA、企業、短期大学などの社会貢献活動と一体的に展開されている「倉吉くらしの応援団」の取組や、行政との連携等についてお話しいたします。

14:50～15:50

事例紹介② 自治体のひきこもり支援・終活支援

神奈川県横須賀市福祉部生活福祉課 福祉専門官 **北見 万幸 氏**

ひきこもり支援のための就労準備支援センターの取組や、訪問型の支援制度について、実践の過程等をお話しいたします。また、以前より実施されている「エンディングプラン・サポート事業」等、地域コミュニティや民業を巻き込んだ取組についても紹介いただきます。

16:00～17:00

意見交換／質疑応答

班ごとに意見交換を行い、感想や質問等を発表します。
質疑応答では、事例を紹介していただいた講師のお2人に回答していただきます。

17:00～17:30

講義

東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 **加山 弾 氏**

2日目の講義のまとめと、翌日の演習に向けての課題を提起していただきます。

2日目の【事例紹介①】【事例紹介②】【意見交換／質疑応答】は、東洋大学社会学部社会福祉学科教授の加山弾氏にコーディネーターとしてご指導いただきます。

令和2年

6月

26日(金)

9:25～12:00

演習 孤立しない地域づくりについて考える

東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 **加山 弾 氏**

講師から提起された課題に対して、小グループで議論・検討を行います。その後、グループでの検討内容を全体に発表・共有し、講師からコメントをいただきます。課題や注意すべき項目など、みんなで意見を出し合いながら整理し、今後の具体的な対応について考えます。

13:00～14:10

講義 総括講義

東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 **加山 弾 氏**

研修をふりかえりながら、孤立が起こりにくい地域をつくるための今後の取組について、総括講義をしていただきます。

14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講